

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	厚木市 142123
地域名 (地域内農業集落名)	小鮎区域 (小鮎村)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	4.41 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	4.41 ha
② 田の面積	4.41 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.32 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.98 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

新規就農者支援の取組によって認定新規就農者等の担い手が複数参入している区域であり遊休農地の解消にもつながっているものの、傾斜地が多く、小規模な農地のみで貸し出しや大規模化が困難な場所がある。
また、大規模化が困難なことで経営の安定化が難しいことから、補助金制度の充実が求められている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

川沿いの農地で水稻の栽培が盛んにおこなわれている地域であり、転作による大豆等の作付けを推進し、転作した作物の生産性を向上させることにより収益の増加を図る。
また、葉にんにく等の鳥獣被害を受けにくい地域の特産となる栽培作物への転換を併せて進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
法人や新規就農者に水稻を中心として集積が進んでいる農地がみられる地域である。このことから従来の農地のマッチングを進めつつ、農地中間管理機構への貸付けを進め、さらに農地集積に取り組んでいく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	76.2	%	将来の目標とする集積率
			76.2 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
水田を中心に集約化が進んでおり、引き続き農業を担う者へ農地集積に取り組む。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水、水路等の整備、老朽施設の更新等を地域の実情に応じて実施する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現在、利用集積が進んでいる農地について地域計画策定後は農地中間管理機構を活用した貸借を進め、農地集積を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
将来的に農地集積が進んでいくことで検討する可能性もあるため、今後の地域の意見踏まえて研究を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農業者、JAあつぎ、行政が連携し、農業後継候補者等を対象に農業に関する勉強会、農業体験活動等の支援を実施する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在は、農地所有者自身での管理や水田等の農業を担う者へ集積が行われているため、今後、区域の状況の変化を踏まえて研究していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	A	水稻	0.236 ha	0 ha	水稻	0.236 ha	0 ha	小鮎01	
利用者	B	水稻	0.058 ha	0 ha	水稻	0.058 ha	0 ha	小鮎02	
利用者	C	水稻	0.084 ha	0 ha	水稻	0.084 ha	0 ha	小鮎03	
利用者	D	水稻	0.054 ha	0 ha	水稻	0.054 ha	0 ha	小鮎04	
利用者	E	水稻	0.114 ha	0 ha	水稻	0.114 ha	0 ha	小鮎05	
認農	F	水稻	0.165 ha	0 ha	水稻	0.165 ha	0 ha	小鮎06	
利用者	G	水稻	0.07 ha	0 ha	水稻	0.07 ha	0 ha	小鮎07	
認農	H	水稻	3.193 ha	0 ha	水稻	3.193 ha	0 ha	小鮎08	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		3.975 ha	0 ha		3.975 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

小鮎区域 目標地図

